

上部消化管内視鏡(胃カメラ)検査の説明書・同意書

年 月 日() 午前・午後 時 分に来院して下さい

検査当日、タオルを1枚持参して下さい。

(前日) 夕食は22時までに食べて、わかめなど海藻類はさけて下さい。水分は寝るまで大丈夫です。

(当日) 朝は何も食べないで下さい。血圧のお薬は少量の水で内服して下さい。

1. 検査の目的・必要性

当院では苦痛の少ない「鼻からの内視鏡(胃カメラ)」を行っております。

痛みの度合いには個人差があり、完全な無痛では有りません。

鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸の中を観察、

胃炎、潰瘍、ポリープ、癌などの病気の診断を行うことを目的としています。

鼻腔が狭いなどの理由から、鼻から内視鏡を挿入できない場合があります。

その際は口からの内視鏡に変更させていただきます。

口からの内視鏡の場合、嘔吐反射が高頻度に起こります。

2. 検査前の注意

バイアスピリン、ワーファリン、プレタール、プラビックス等、

血液が止まりにくくなる薬を服用している方は必ず事前に申し出て下さい。

3. 上部消化管内視鏡検査による危険性(合併症)

鼻、のどの麻酔(キシロカイン)によるアレルギー反応、気分不良、ショック、他が起こりえます。

内視鏡の接触による疼痛や腫脹、鼻出血、粘膜の損傷及び出血が起こりえます。

大出血を起こすことは稀(5万分の1)です。

咽頭、食道、胃、十二指腸に穿孔(5万分の1)を起こすことがあり、

大きな潰瘍や腫瘍があると確率がやや高くなります。

生検、ピロリ菌の検査を行うと潰瘍形成や大出血を生じることがあります。

合併症によっては入院となり、輸血、緊急開腹手術、その他の治療が必要になることもあります。

検査終了後に疼痛、鼻出血が出ることもありますが、ほとんどは数分で治まります。

ごく稀に、数日続く事が有りますが、自然に治まります。

検査後下血や腹痛が生じましたら、すぐに当クリニックに連絡して下さい。

【鎮静剤の使用について】

当クリニックでは内視鏡検査を行う際に、必要に応じて鎮静剤を使用する場合があります。

鎮静剤は、検査の際に緊張を和らげ、検査を楽に受けて頂くために使用します。

軽い鎮静剤ですので、途中で目が覚める場合も有ります。

鎮静剤を使用した場合は十分に休んで(30分~60分)から帰宅して頂いています。

当日、車やバイクで来院された場合、鎮静剤は使用できません。

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)の同意書

説明日: 年 月 日() 吉岡クリニック 吉岡 広

私は上部消化管内視鏡検査に関してその必要性と合併症の説明を受け理解しました。

私は内視鏡検査を受けることに同意します。

年 月 日() 本人のご署名()